

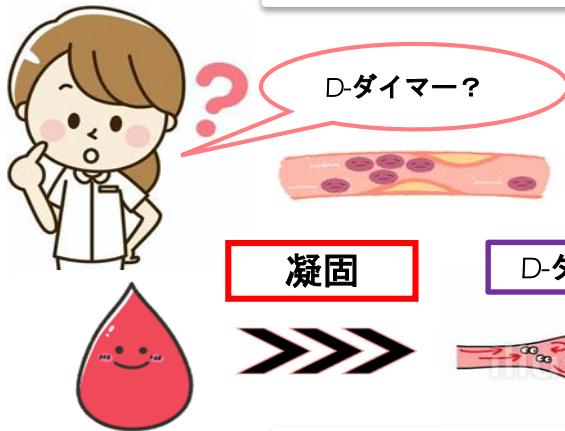


認定看護師通信

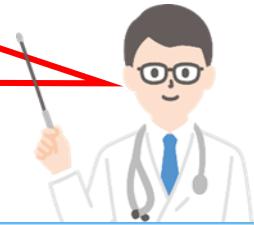


2026年1月発行
Vol. 52

D-ダイマー、気にしてチェックしていますか？



D-ダイマーはフィブリン（血液凝固に関わるたんぱく質）が分解される過程で出現する分解産物で、体内で血栓が形成されている、または形成された可能性を調べる検査だよ！



D-ダイマー基準値 1.0µg/ml 以下

・人間の体は血栓形成されたあと、それが必要なくなると血栓を溶解しようとします。

止血の役割がある血栓も、役目が終われば「害」になります。

血栓を壊す働きを「線溶現象」と呼ばれ、血栓中のフィブリンが溶解されFDP（フィブリン/フィブリノーゲン分解産物）が产生します。このFDPが分解される時に発生するのがD-ダイマーです。

予測される主な疾患

播種性血管内凝固症候群 (DIC) ・深部静脈血栓症 (DVT) ・肺血栓塞栓症 (PE)

上記疾患以外にも、急性大動脈解離・外傷・骨折・肝硬変、妊婦（左下肢のDVT発症が多い）でも上昇します。安静中の患者さんへは症状観察とデータチェックを怠らず、必要に応じて弾性ストッキングまたはフットポンプ装着や足の背屈運動指導を行い、早期離床に努めていきましょう！ 文責：救急看護認定看護師 下村雅美

認知症看護認定看護師となりました、野尻美菜です。

2024年4月から1年間研修を受け、現在認知症ケアチームの専任看護師として病院内の認知症の患者さんやせん妄の患者さん、スタッフの方々と関わらせて頂いています。私は、易怒性や帰宅願望、活動性が低下している患者さんと接するなかで自分の知識と技術不足を痛感したことがきっかけで認知症看護について専門的に理解し、深く学びたいと思い認定看護師を目指しました。

病院は認知症の患者さんにとって、とても不安を感じる場所です。その不安が易怒性や帰宅願望などの行動・心理症状 (BPSD) やせん妄につながることがあります。認知症ケアはまず非薬物療法が大切となります。認知機能障害と身体疾患の合併による影響をアセスメントし、多職種で協力しながら身体疾患で入院した認知症の患者さんやその家族が安心して治療を受けることができるよう療養環境を整えていきたいです。「この患者さんの対応が難しい・・」と思ったときは、是非相談をよろしくお願ひします。まだまだ経験不足ではありますが、研修で学んだことを活かして一緒に認知症ケアについて考えていきたいです。よろしくお願ひいたします。

文責：野尻 美菜

バイオハザードマークと廃棄物分別

～色の違いを知って事故を防ぐ～
現状色んなゴミが混ざっています



鋭利なもの（注射針等）



液状または泥状のもの
(血液やドレーン排液等)



固形状のもの
(体液が付着したガーゼ等)



正しく分別しないと、
廃棄にかなりコストがかかっています。

廃プラスチック



外袋は可燃物



廃棄コスト2倍
段ボール → 白色プラ容器

正しく分別して無駄を減らそう

廃棄コストのこと
も考えないといけ
ないな…



文責
感染管理認定看護師
大田黒裕介